

# インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

## 第 12 号

- 藤田祥道 大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜 IV  
—『大乘莊嚴経論』：総括と展望— .....(1)
- 那須円照 『アビダルマ・ディーパ』における心不相応行の研究(1) .....(40)
- 那須良彦 俱舍論根品心不相応行論  
—世親本論と諸註釈の和訳研究(3)— .....(67)
- 志賀浄邦 *Tattvasamgraha* 及び *Tattvasamgrahapañjikā*  
第 18 章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(2) .....(96)
- 五島清隆 龍樹の仏陀観  
—龍樹文献群の著者問題を視野に入れて— .....(137)
- Mark SIDERITS & Shoryu KATSURA *Mūlamadhyamakakārikā* XI-XXI .....(170)
- O. v HINÜBER The Advent of the First Nuns in Early Buddhism .....(222)

2008 年

インド哲学研究会

## 執筆者紹介

藤田祥道 (ふじた よしみち)	龍谷大学仏教文化研究所客員研究員
那須円照 (なす えんしょう)	龍谷大学仏教文化研究所客員研究員
那須良彦 (なす よしひこ)	浄土真宗本願寺派教学伝道研究センター 専任研究員
志賀浄邦 (しが きよくに)	京都産業大学文化学部国際文化学科講師
五島清隆 (ごしま きよたか)	佛教大学非常勤講師
Mark Siderits	ソウル大学教授
Oskar von Hinüber	フライブルク大学名誉教授

## 編集後記

本年も無事期限内に最新号を出版することができます。これも偏に創刊号から一貫して編集の実務と版下作成を担当してくださっている乗山悟氏のご努力の賜物と感謝申し上げます。巻頭論文は、藤田祥道氏の一連の「大乘經典仏語論」に関する論考の最終部分であります。同氏はこれら一連の論文により博士論文を作成し龍谷大学文学研究科に提出しておられ、後は審査を待つだけになっております。いずれ著書として公刊されることを願って止みません。那須円照氏の論文は『アビダルマディーパ』の翻訳研究であり、那須良彦氏と志賀浄邦氏の論文も昨年からの継続の翻訳研究であります。これらの翻訳研究こそ本誌の創刊者である神子上恵生先生の最も期待される分野であります。五島清隆氏は、近年意欲的に中観派研究の論文を発表しておられますが、本論文は氏の一連の龍樹研究の一部であり、龍樹の仏陀観を通して、彼に帰せられる諸論書の著者問題を論じたものであります。間違いなく現在の学界に大きな波紋を呼び起こすであろう予感がいたします。その後に、シデリッツ氏と編集子の『中論頌』の共訳の続編を掲載いたしました。これも後一回で完了する予定です。最後に昨年龍谷大学で講演してくださったヒンニューバー先生の原稿を頂き、掲載いたしました。律研究者だけでなく、古典文献を通じて仏教を研究する若い研究者にとって「方法論」を具体的に示されたものとして多くの人に読んでいただきたいと思っております。最後になりましたが、本号の出版を全面的に支援していただきました神子上先生に深く感謝申し上げます。(SK 記)

## 『インド学チベット学研究』入手のご案内

本誌の入手を希望されます場合は、実費で頒布いたします。住所氏名および入手希望号・冊数を編集者の桂紹隆までご連絡ください。折り返し発送するとともに、費用の支払い方法についてご案内いたします。費用は各号いずれも本体 1000 円+送料実費となっております。

## <バックナンバーのご案内>

**第1号** (品切れ) 神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(2)—Tattvasaṃgraha と Tattvasaṃgrahapañjikā の 23 章外界対象の考察— 若原雄昭／仏教とのジャイナ教批判(2)— 藤田祥道／『五百頌般若経』について—試訳(承前) 那須円照／有部の形実有論と経量部の形実有論(上) 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(I)

**第 2 号** 藤田祥道／クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論—『大乘莊嚴經論』第一偈の一考察—  
原田和宗／<経量部の「単層」の識の流れ>という概念への疑問(II) 那須円照／アビダルマの  
極微論(2)—極微が触れるか触れないかという問題を中心として 神子上恵生／唯識学派による  
外界対象の考察(1)—Tattvasaṃgraha と Tattvasaṃgrahapañjikā の 23 章外界対象の考察—

**第 3 号** 藤田祥道／仏語の定義をめぐる考察 岩本明美／『大乘莊嚴經論』第 13 章「修行章」  
—サンスクリットテキストと和訳— 原田和宗／<経量部の「単層」の識の流れ>という概念  
への疑問(III) 乗山悟／アルチャタの「推論の解明」—*Hetubinduṭīkā* 研究(1)(pp. 1-5)—

**第 4 号** 乗山悟／アルチャタの「綱領偈」解釈—*Hetubinduṭīkā* 研究(2)(pp. 6-11, 3) 原田和宗  
／<経量部の「単層」の識の流れ>という概念への疑問(IV) 那須円照／得・非得に代わる種子  
の理論 岡本健資／クナーラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(1)— 那須円照／  
アビダルマ研究ノート

**第 5・6 号** 神子上恵生／インド瑜伽行唯識学派における諸仏とのコミュニケーション 原田和  
宗／<経量部の「単層」の識の流れ>という概念への疑問(V) 岡本健資／クナーラ王子の物語  
—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(2)— 櫻井良彦／説一切有部における衆同分の分類  
Kiyoyuki KOIKE (小池清廉)／Suicide and Euthanasia from a Buddhist Viewpoint  
—On *Nikāya*, *Vinaya Pīṭaka* and the Chinese Canon— Satoru NORIYAMA(乗山悟)／On the  
*Maṅgala* verse of *Hetubinduṭīkā* Erich FRAUWALLNER (那須円照訳)／Die Erlösungslehre des  
*Hinayāna* (小乗の解脱論)

**第 7・8 号** 村上真完／大乘仏教の起原 武田宏道／認識主体としてのプロダガラ存在に関する批  
判—『俱舍論』破我品の所説を中心にして— 那須円照／*Abhidharmaḍḍipā* (『アビダルマディー  
パ』)の時間論<三世実有論>試訳 岡本健資／*Divyāvadāna* 第 26 章所収ウパグプタの物語試訳  
—猿の瞑想・娼婦への教化・マールへの教化— 那須良彦／説一切有部における得と随得  
Kiyoyuki KOIKE(小池清廉)／Mental disorders from a Buddhist View, especially those within  
the *Nikāya*, the *Vinaya Pīṭaka* and the corresponding Chinese translations

**第 9・10 号** 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜— I. 『般若経』：「智慧の完  
成」を誹謗する菩薩と恐れる菩薩— 乗山 悟／アルチャタの「主題所属性論」—*Hetubinduṭīkā*  
研究(3)(pp.11,4 – 17,23)— 那須円照／*Pratisaṃkhyānirodha*—"Documents d'Abhidharma  
traduits et annotés par Louis de La Vallée Poussin: Textes relatifs au *Nirvāṇa* et aus *Asaṃkṛta* en général  
II." *Bulletin de l'École Française d'Extrême-Orient* 30: p. 272.11-292.17 和訳— 岡本健資／王弟ヴィ  
ータショーカの物語—*Divyāvadāna* 第 28 章 *Vītaśokāvadāna* 和訳— Mark SIDERITS & Shoryu  
KATSURA／*Mūlamadhyamakakārikā* I-X

**第 11 号** 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜 III—『解深密経』：三無自性  
という一乗道の開示— 那須円照／『俱舍論』とその諸注釈における作用をめぐる論争—試訳  
那須良彦／俱舍論根品心不相応行論—世親本論と諸註釈の和訳研究(2)— 志賀浄邦／  
*Tattvasaṃgraha* 及び *Tattvasaṃgrahapañjikā* 第 18 章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳  
と訳注(1) 岡崎康浩／サンギータラトナーカラ第一章試訳・その 1 Peter SKILLING／*Mṛgāra's*  
*Mother's Mansion: Emptiness and the Śūnyatā Sūtras*

インド学チベット学研究 第12号

2008年10月発行

編集者 桂紹隆

発行者

インド哲学研究会 (代表者 桂紹隆)

Association for the Study of Indian  
Philosophy

〒600-8128

京都市下京区七条大宮

龍谷大学文学部

桂研究室気付

DEPARTMENT OF BUDDHIST STUDIES,

FACULTY OF LETTERS,

RYUKOKU UNIVERSITY,

SHICHIJO OMIYA, KYOTO 600-8128 JAPAN

e-mail: [skatsura@let.ryukoku.ac.jp](mailto:skatsura@let.ryukoku.ac.jp)

電話 (075) 343-3311 (大代表)

銀行口座 みずほ銀行 京都支店 (普)1003766 桂紹隆

# JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

## (INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

No. 12, 2008

### CONTENTS

- Yoshimichi FUJITA,  
Development of the Theory for the Defense of Legitimacy of  
the Great Vehicle in Mahāyāna Sūtras and Treatises IV  
—*Mahāyānasūtrālamkāra*: Conclusion—.....(1)
- Ensho NASU,  
A Study of the Concept of *cittaviprayuktasaṃskāra* (Conditioned Forces  
Dissociated from Thought) in the *Abhidharmadīpa* and *Vibhāṣāprabhāvṛtti* (1) .....(40)
- Yoshihiko NASU,  
On *Cittaviprayuktasaṃskāra* in the *Abhidharmakośa*, Chapter II  
—An Annotated Japanese Translation of the *Abhidharmakośa*  
and its Commentaries (3)— .....(67)
- Kiyokuni SHIGA,  
An Annotated Translation of the 18th Chapter (*anumānaparīkṣā*) of  
the *Tattvasaṃgraha* and *Pañjikā* thereon (2) .....(96)
- Kiyotaka GOSHIMA,  
Nāgārjuna's Views of Buddha  
With a view to the Problem of Authorship of “Nāgārjuna Literature”.....(137)
- Mark SIDERITS & Shoryu KATSURA,  
*Mūlamadhyamakakārikā* XI-XXI .....(170)
- O. v HINÜBER,  
The Advent of the First Nuns in Early Buddhism.....(222)

Editor

Shoryu Katsura

Association for the Study of Indian Philosophy  
Kyoto, Japan